



つながる

令和6年1月11日
 特別支援教室拠点校
 江戸川区立北小岩小学校
 校長 藤島 寿晴
 特別支援教室「つながる」
 巡回指導だより No.10



朝の冷え切った空気が、気持ちを新たに身も心も引き締めくれるような新年のスタートとなりました。新しい一年が子供たちにとって、また、保護者の皆様にとって笑顔がたくさんになりますよう、お祈り申し上げます。寒さ、乾燥が一段と増す季節なので、体調管理などに気を配りながら、無理なく元気に過ごしていただければと思います。



めざせ！整理整頓マスター！！

整理整頓ってなんのためにするのでしょうか？散らかっていて不便そうでも、本人が困っていなければ課題になりません。ですが、片付けができなくて見つからないと時間管理の課題、散らかっていて他の人が使うエリアまで進出してしまっていると自分の守備範囲を守ることが課題になります。また、片付けができないと学習が遅れてしまう、学習のスタートラインに立てない、学習や説明が分からなくなってしまう、モチベーションがさがり、悪循環が生じてしまうなどの不具合がうまれてしまいます。片付けをすることの良さを子どもたち自身が感じて、それぞれの困り感にあった片付けやすい方法を見つけてみてください。今回は3つ、整理整頓の工夫を紹介します！！様々な方法をご家庭でも試してみてください。

整理整頓の工夫

- 0 大まかなカテゴリー1 物を置く場所を決め (本文具など) でわかる 写真を提示する。
- 2 学校から持ち帰るものは ランドセルの内側に メモを貼る。
- 3 道具箱や筆箱の裏に入れて おくもののしまい方の 写真を貼る。



★POINT★

- ・視覚化してイメージをもちやすくする。
- ・使う場所の近くに定位置を作っておくようにする。

やってみよう！



子どもの成長を見るところ

最近読んだ本、「発達障害・グレーゾーンの子どもが見ている世界」(田中康雄監修)に、『子どもの気持ちに寄り添うために意識したい8つのこと』として、右の8つのヒントが書かれていました。

特に、②は常に心掛けたいことだと思いました。

どうしても、我々は「その子」と「周りの子」を比べてしまいがちです。しかし、確実に成長をしているはず！なのに「できないところ」が目がいきがちです。ひとりひとりの成長スピードも目指すゴールも違います。比べるべきは、数か月前、数年前の子どもの姿にあるのではないのでしょうか？どんな小さなことでも、「できたこと」を誉め、価値付けてあげるようにしたいですね。(平田)

- ① 注意や小言は少なめにして、褒めポイントを見つける
- ② 成長スピードやできることを周りの子と比べない
- ③ 子どもの一番の味方で、安心できる居場所になる
- ④ 言うことを聞いてくれなくても、感情的にならない
- ⑤ 子どもの困った行動をあらかじめ「回避」することも必要
- ⑥ ひとりで抱えこまず、周りの人を頼る
- ⑦ がむしゃらに頑張るだけでなく、息抜きや休息を大切に
- ⑧ 園や学校に行きたがらないなら、無理に行かせない